

経皮的肝動脈塞栓術を受けられる方へ（入院診療計画書）

病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。
入院期間については現時点で予測されるものです。ご不明な点は遠慮なくスタッフへお尋ねください。
入院の際は、この用紙を持参してください。

主治医

患者様氏名

様

受け持ち看護師

家族等氏名

様

(続柄)

経過	外来	入院日又は検査前日	検査当日（治療前）	検査当日（治療後）	治療後1日目	2日目から4日目まで	5日目から退院まで
月／日	／	／	／	／	／	／ ～ ／	／ ～ ／
目標	治療について心配なことや不明な点を主治医や看護師に伝えることができて治療についてご本人もご家族も理解されている。			病状や気分の不快を主治医や看護師に伝えることができる。 傷口からの出血が起こらない。		合併症（疼痛・発熱・嘔吐）を抑えることができる。 出血・肝不全（腹水・黄疸・肝性脳症）がない。	
食事・水分		検査のため食事を待っていただくことがあります。 夕食の後、21時以降は飲食できません。	治療が終わるまで飲食できません。	治療後、飲食は自由です。 しかし、食事の時には介助が必要な場合があります。			
安静度		検査がある方は安静にいただくことがあります。 院内は自由に歩けます。	治療を行う部屋へはベッドで寝たまま移動します。	仰向けで寝ていただきます。寝返りは介助で行うことができます。しかし、治療したほうの足は動かすことができません。 治療に使用する管の太さにより安静の程度が変わりますが、翌朝の安静解除まではベッドから降りることはできません。	安静が解除されるまでは、前日からの安静をお守りください。 安静が解除された後は、制限はありません。		
排泄			治療前におしっこの管を入れます。	排便は安静解除されるまで寝たまま行います（治療によっては、安静が解除された後おしっこの管を抜きます）。	安静が解除された後、おしっこの管を抜きます。 その後、4日間おしっこを備えつけの蓄尿袋にためていただきます。	治療後4日目（月 日）で蓄尿は終了です。 	
清潔		入浴できます。			安静が解除された後、看護師が体を拭く手伝いを致します。	そけいの絆創膏をはずした後、入浴が可能です。	
薬・点滴	お薬を飲んでいる方は他院の薬も含めてすべて持参して下さい。その際、お薬手帳があれば一緒にお持ち下さい。	飲み薬のある方はそのまま飲んでください。抗凝固剤は指示のあった日から中止します。 （月 日）	朝の薬は医師の指示した薬のみ飲んでいただきます。 点滴を開始します。 検査直前に痛み止めの注射をします。	点滴は、翌日まで続きます。 	点滴があります。		
処置・治療		陰部の毛を剃ります。 両足の甲に印を付けます。	陰部をガーゼで覆います。		そけいの包帯を交換します。 出血がなければ安静が解除されます。	治療後4日目（月 日）にそけいの絆創膏をはずします。	
検査	胸部写真、出血時間、心電図、血液検査をしていただきます。	追加の検査をしていただくことがあります。 					毎朝7：00に体重を計っていただきます。結果は看護師にお知らせください。 治療後6日目（月 日）に血液検査を行います。
説明・指導	看護師から、入院の準備に関する説明があります。 医師から、入院、治療について説明があります。	主治医から検査と検査後の安静について説明を受けていただきます。治療開始時間について連絡いたします。 準備物品 大きめのバスタオル （必要時前びらぎシャツ）	入れ歯、ヘアピン、コンタクトレンズ、時計、指輪等 ははずしておいてください。 貴重品はご家族にお預けください。 ご家族の方は治療中、病室又はデイルームで待機していただきます。	長い時間あおむけのまま寝ていただくため、腰が痛くなることがあります。 痛みが強いようでしたら看護師に伝えてください。 			退院後の生活についてご説明いたします。 看護師が次回の外来受診についてご説明いたします。 